

自己評価票

地域密着型サービス自己評価項目

(評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

【記入方法】

- 複数のユニットを持つ認知症対応型共同生活介護事業所の場合、各ユニットごとに、管理者が介護職員と協議の上記入してください。
- 次の項目は、小規模多機能居宅介護事業所のみ記入してください。
 項目番号23 ○初期に築く本人との信頼関係
 項目番号24 ○初期に築く家族との信頼関係
 項目番号25 ○初期対応の見極めと支援
 項目番号26 ○馴染みながらのサービス利用
 項目番号39 ○事業所の多機能性を活かした支援
- 次の項目は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入してください。
 項目番号53 ○身だしなみやおしゃれの支援
 項目番号59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援
 項目番号60 ○お金の所持や使うことの支援
 項目番号61 ○日常的な外出支援
 項目番号62 ○普段行けない場所への外出支援
 項目番号63 ○電話や手紙の支援
 項目番号64 ○家族や馴染みの人の訪問

【用語について】

- 管理者＝指定事業者としての届出上の管理者とする。「管理者」には、管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。
- 職員＝「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。

事業所名 グループホーム 福の里

(ユニット名) 2F

記入者(管理者)
氏名 遠藤 糸子

評価完了日 平成20年2月13日

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所として、利用者の自立支援を目指し豊かで住み良い地域で生活して頂ける事をモットーとした理念を掲示している。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所の理念を掲示しており、全職員が日々いつでも認識し、肝に銘じて支援に努めている。	朝の引継ぎの時、理念を発し、一日の介護のスタートとしている。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	利用者が地域の催し会に参加し、知人に逢えたり声かけられたりする。又、街の中を見て歩く支援で昔との違いを喜んで話されている事等を家族に報告している。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	施設での行事の時、近隣の方々に声かけをして来所して頂いたりして大分親しさが深まってきている。	近所の方に花の植木を貸して頂ける様になっている。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会にも入らせて頂いており町内の掃除等にも参加し利用者が縫われた雑巾等を使って頂いたりとの交流に努めている。	花見会や芋煮会等に来所の声かけをし参加して頂いている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> <p>地域の一人暮らしの高齢者が気軽に遊びに来て頂ける様に町内の方々に伝え少数ではあるが来所されている。</p>	○	<p>当施設のチラシを町内に配布して施設の理解を深める取り組みをしていきたい。</p> <p>一人暮らしの高齢者が遊びに来られる方々を増やしていきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> <p>毎年評価を実施されている事により少しずつ改善されており、難しい面もあるが今後も継続に努めていきたい。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> <p>会議では地元の方の情報を伺い、利用者が少しでも楽しく、穏やかに生活して頂ける様に努めている。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> <p>市役所には何かと行き来させて頂いている。職員研修での書類提出等で参加を依頼する事で質の向上に努めている。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> <p>現在は制度を利用される方の該当者がなしなので話し合いは持っていないが必要な方にはいつでも支援していきたい。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p> <p>日々の援助で虐待が行われる事の無い様に、自然会話の中で確認に努めている。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前に施設の中を見学して頂き、利用者が入居初日に家族の方に契約についてきちんと説明し、納得を頂いて結んでいる。(経理の方も担当から説明をさせて頂いている)	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の援助中に直接本人から意見や希望を伺ったりして支援に努めている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族が来所時やTEL連絡時又、月1回の近況報告、金銭報告を個別に行っている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居時の契約時に苦情、不満を外部者へ表せる説明をしているが、家族の来所時やTELでの話し合いの中で意見、苦情等を伺うようにしている。今後も家族の意見を伺い運営にも反映していききたい。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個別に話し合いする機会を設けている。建設的な意見、提案等は受け入れ、創意工夫に努めている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の家族が遠方の為等で受診が困難な場合等には、職員が代理で援助に努めている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が代わる時は、引継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年2回社内研修を行い、また対外の研修には順番になるべく多くの職員が受講できるようにしている。また、それらの研修報告は、毎月のスタッフ会議で発表してもらい、他職員にも周知できるようにしている。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH連絡協議会に入会しており、研修等を通して他事業所との交流、情報交換をしている。GHFとはH19年5月25日に19名の訪問を受け入れた。	○	今後は同業者の交流等を増やし情報交換をしながらさらに質の向上に取り組んでいきたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	定期的に社内の懇親会を開催し同社のグループホームの職員との交流の場を作っている。また運営者、管理者の個別面談を設け意見を聞いて運営に役立っている。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は頻りに現場に来ており、利用者との会話にも参加し、個々の職員の業務を把握し、細かい情報でも管理者と、報・連・相を密にとっている。また職員が向上心を持って働けるよう職能評価を行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている(小規模多機能居宅介護)		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者より昔の話を聞いたり、得意な事を聞き共感し、泣いたり笑ったりして一時を過ごしたり、良き関係に努めている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の方にはお誕生会、芋煮会や花見会で共に楽しむ等で参加を頂いている。	○	家族と共に小旅行の実施や、ホームでの盆踊り大会を実現に取り組んでいきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	1/M回は本人の顔や生活状況の写真付きの手紙を送っている。また本人の意向や状態等に配慮し家族と連絡を取り合いながら、来所をお願いし、良き関係に努めた支援をしている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の希望の場所に出掛けたり遊びに来て頂いたりしているが、利用者数は少ない。	○	家族と話し合いながら、馴染みの人や場を把握し、関係を深められる方を増やしていける様に支援していきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者の性格等を把握し、相性でテーブル席を決めており、良き関係を保てる配慮に努めている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	現在までの契約終了者の交流は出来ていない。 (入院や遠方施設入所等で、なかなか交流が難しい状況にある為)		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	食事の時間など利用者一人一人のペースに合わせて支援している。入浴も決して強制にならないよう支援している。保清面の配慮で入浴を好まない利用者に対しては声かけの仕方の工夫に努めている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を取り入れ、生活歴や馴染みの暮らし方の把握に努めている。(家族、親戚、知人に情報を伺ったりしている)	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	庭の散歩を日課にされている利用者には、自由にエレベーターを使って移動できるよう配慮している。料理の得意な方には野菜刻み、掃除の得意な方にはモップがけなどして頂いている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画をたてる前に、家族や管理者、職員等と話し合い、意見を出し合い計画を作成している。家族が遠方に住んでいる場合は電話やメールなどで連絡をとり、意見を出していただくようにしている。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	H20年1月より毎月見直しができるように、改善した変化がある場合には家族等と話し合いを持ち、計画を作成している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	H20年1月より24Hの様子で本人の状態が把握し易い記録に変更し、見直しも毎月出来るように改善した。	○	今後は介護計画に生かすように努めていきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	常時ボランティアの交流受け入れをして楽しんでもらっている。お祭りのおみこしを施設前で見学出来たこと。 警察署に万が一の場合の時の協力の依頼をしている。 地元の催し等で優待券を頂いたりして参加している。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在の所、他のサービス利用をする為の支援はしていない。今後必要性がある時は話し合いをして利用の支援をしていきたい。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進委員会で出席頂いた時に情報交換等を伺ったりしているが現在の所、項目での該当者が無い状況にある。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45			
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>現在利用者の方が将来、特老入所を希望される場合、その際は十分な話し合いをしながらスムーズに移行されることに努めたいと思っている。</p>	
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>排泄時の不安、羞恥心等への配慮をしている。排泄の誘導介助や確認失禁の対応は、不安や羞恥心、プライバシーに配慮しながら細かく声をかけ支援している。</p>	<p>○</p> <p>失禁をした利用者にはさりげなく、トイレとは言わず、別なことを理由にトイレ誘導を行っている。また、他の方の見えない所で清拭や服を直したりの介助を行っている。</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>食べたい物や衣類など、また気分転換にドライブなど出来る限り希望を叶える支援に努めている。</p>	<p>○</p> <p>今後は、希望要望自己表現が出来ない方のためにも同じような支援に努めていきたい。</p>
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>常に入居者一人ひとりの人格を尊重しプライバシーを損ねる様な言葉かけや対応の配慮に努めている。本人の返答能力に応じた質問方法として、本人が思っている「現実」を肯定する支援に努めている。</p>	<p>○</p> <p>本人の今までの生活や仕事にあわせ、それに沿った話し方対応に心がけている。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援(53は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>理美容院の利用支援や、外出する時には話し合いをして洋服選び等の支援をしている。または本人の好みの洋服購入で職員が同行している。</p>	<p>○</p> <p>本人の希望に合わせて近所の理髪店に気分転換もかねて散髪に行く。歩けない人に対しては施設に来てもらっている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)</p>		<p>家庭にいる時のように自分で出来ることを本人の了解を得てお願いをしている。(野菜の下ごしらえ、洗濯物たたみ、縫い物等)</p>


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している（認知症対応型共同生活介護）	本人の希望がある方は家族と話し合い所持している。買い物等希望がある時は職員同行で自身で選び使う楽しみをされている。	○	自分で選ぶ喜びを味わって頂くためにも、買い物の希望者を増やしていきたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している（認知症対応型共同生活介護）	ホームの近くの公園への散歩、コンビニでの買い物など行っている。本人の希望によっては、洋服を買いに行ったり、お菓子を買いに行ったりもする。	○	外に出ることの楽しさを味わっていただき、買い物、散歩の希望者を増やしていきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している（認知症対応型共同生活介護）	白鳥見学、菊人形展、民謡祭、施設のお祭り等にはその時の利用者の体調を確認し、出掛けられる方で出掛けている。	○	今後家族と一緒に出掛けられる機会を話し合っていきたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている（認知症対応型共同生活介護）	本人希望されれば、直接に家族と電話で話していただいている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している（認知症対応型共同生活介護）	本人が以前に住んでいた所の近所の人や、家族など来てくださる。一緒にお茶を飲んだり、近くの公園に散歩に行ったりする。とても喜んで帰られる。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の研修を受けた職員より、具体的な禁止行為を共有理解に努めて援助している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	今後事故防止等の研修があれば人材育成として学ぶ機会を与えて頂きたいと思えます。
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	H20年消防署の協力により5月、10月に避難訓練を実施予定している。また、地域の方々にも参加協力をして頂く様にしたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	常日頃の生活において、個別状態で転倒の危険や、夜間ベッド上でお菓子等を食べたい方等があり、それらの家族の方々にはリスクを話し合い了解を受けている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員が体調変化、異変を発見したときは、職員同士で以前の状態はどうだったのか相談し、その後ケアマネージャー、看護師と連携し必要があれば医師に連絡をし、速やかに対応している。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別の服薬票があり、個別に区分けしている。看護師が日付、名前を記入し、間違いの無いよう服用後は記録票に記入している。途中、薬の変更があった時は看護師が薬の副作用を把握し、職員の連絡ノートに記入して知らせている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分の摂取量と尿量、排便の記録票があり、それを活用し、3日排便が無いときは水分量を増やしたり、処方されている内服薬を服用して調整している。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、個別に口腔ケアを実施している。自分で出来る方には声かけで等、個別の能力に応じた介助をしている。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー計算された業者の食材で調理しており、量も個別に配慮している。水分は1000cc以上確保できるようにし、記録に残している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	「感染対策マニュアル」を職員がいつでも見れるように作成している。ミーティングなどで予防や対応について話し合いをしている。（手洗いの徹底等） 毎年、利用者全員にインフルエンザ予防接種を受けて頂いている。全職員にも受けるように声かけをしている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は賞味期限などに気をつけながら、新鮮なうちに調理するよう心がけている。ふきん、まな板など、使用後は塩素系ハイターで殺菌消毒している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには季節の草花などを置いて親しみやすい雰囲気を出している。敷地内の草むしりなどの清掃活動を定期的に行っている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレは各居室にもありゆったり利用して頂いている。入浴も一人ずつの介助で時間も本人の意向に合わせて支援している。リビング等には季節、行事が感じられるように配慮している。廊下には手すりをつけてあり、安心歩行出来ている。		浴室のドアに入浴中と下げておき、利用者のプライバシーに配慮している。正月のお飾り餅、たこ、鬼の面、お雛様、季節の花、植木鉢等を飾っている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	建物の死角を利用し、出来るだけ気の合った利用者同士と一緒に過ごせるよう工夫している。		椅子、ソファを各場所に置いて、どこにでも移動できるようにしている。食事をする時の席は相性の良い方同士で座る事ができるように配慮している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	家族の協力を得て、今まで使っていた生活用品や 飾り物、昔の家族の写真などを飾ってある。仏壇 の希望者があり配置している。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	各居室、朝の巡回時にチェックを行う。廊下やト イレと居室の温度差が無いように気をつけてい る。気になる臭いが無いように気をつけている。	○	各居室等の窓の開閉を天候を見ながら行ってい る。冷暖房の温度調節をこまめにチェックしてい る。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	玄関には外から疲れて戻った時に座る事 の出来るように椅子が設置されている。手すりもある。 お風呂場は滑らないように全体にマットを敷く。 (その都度洗い、入浴時組み込む)		廊下には全部手すりが設置してある。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるよ うに工夫している	居室、トイレ、浴室には表示があり、場所の 間違いを防ぐ。衣類などには大きく名前を記入してい る。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	天気の良い日は外で洗濯物を干す。裏に畑があり 野菜を作って、草むしりや手入れを行う。花壇の 手入れを行う。		外気浴が出来る様に椅子、テーブルを設置して お茶を楽しんだりしている。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない	⑤その他 () 表情を観察しながら、生活や好み等を把握している
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	⑤その他 () 全介助の利用者がいるので、なかなか一緒に食事をする事は難しい状況にある
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	⑤その他 () 居室で過ごす方、昼寝、テレビ鑑賞とそれぞれ自由に過ごされている
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	⑤その他 () 包丁を使っている時、食事をする時、外出している時、洋服を選んでいる時等で、それぞれに生き生きとした姿が見られている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	⑤その他 () 心身の状態により外出が難しい方もいる
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	⑤その他 () 毎日のバイタルと、通院、往診の対応、夜間対応で警備員が毎日守備されている
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	⑤その他 () 本人に意向を伺いながら要望を重視しての支援をしている
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない	⑤その他 () 来所時やTEL等で家族の要望等を伺い、利用者の状況も細かく報告している
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	⑤その他 () 家族の意向もあるが特に支障のない方には友人の方に来所して頂いている

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	⑤その他 () 利用者との会話をする事で来て下さっている。近隣の方が植木鉢を(菊の花) 玄関前に貸して下さったりしている。お祭りのみこしを、わざわざ施設の前を通り、止まって見せてくださった。
98	職員は、生き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	⑤その他 () 高齢者が好きな方なので働く事に充実していると思われる
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	⑤その他 () 自身の気持ちを表現できない方もいるので、全員は難しいと思われる
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない	⑤その他 () 来所時等に家族の意見等を聞きながら支援している事で、感謝の言葉が聞かれている

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

毎食後、口腔ケア介助に配慮している。食事摂取はおいしいと感じて頂ける様にしている。88才過ぎている方で、全部自分の歯だよと、入れ歯でない方が2名おります。その方々の歯も大切にしていきたいと思っております。